

春を探しに出かけよう

まっすぐ植えるためのいろいろな道具

全て手作業で行う『田植え体験』。きれいに仕上がり、達成感を味わえるのも、迎える側(主催者)の入念な準備があつてこそ。

スムーズな手植え作業を行うために、田んぼに等間隔の線を引くのもその一つだが、土地の条件や地域により、線を引く道具、呼び名もさまざま。



平成23年5月15日、暮坪『田植え体験』
まっすぐ引いた線に沿ってはだして
植える子どもたち。

押しぐるま



角線引き

水土里ネットいなば『田植え体験』準備の様様。
『つや姫』が誕生した水田農業試験場で活躍している角線引きを使って、格子状に線を引く。



かたわく

平成23年5月20日、庄内町家根合『田植え体験』。家根合では、線を引くのも体験メニューの一つ。
八角形の木型(かたわく)をグルグル回し、格子状の模様をつける。子供たちに人気の作業。

暮坪で「田植え体験」してみませんか。

【開催時期】 毎年5月中旬頃の日曜日

【参加費】 無料

※ 開催日時は未定です。体験したい方は
下記連絡先にお問合せください。

【連絡先】 暮坪自治会長 奥井厚さん(自宅) TEL 0235 - 43 - 3501

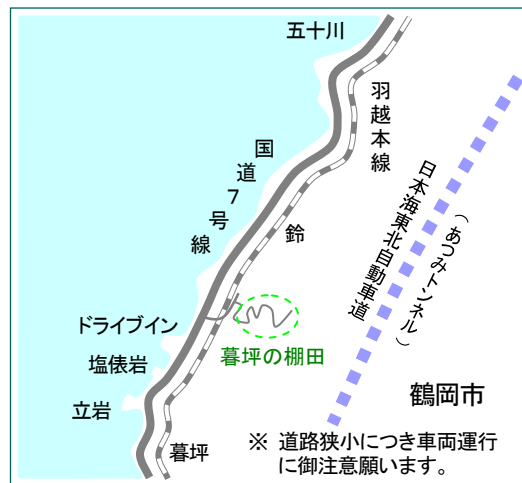
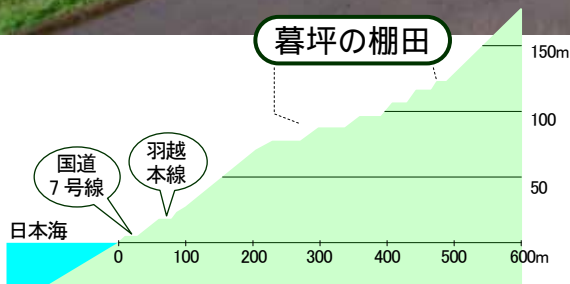


日本海の見える

棚田で田植え体験

鶴岡市暮坪

くれつぼ



県内唯一、海の見える 棚田へようこそ

海産資源、林産資源が豊富で、傾斜地を農地として利用してきた鶴岡市暮坪地区。

『やまがたの棚田20選』選定を契機に、「県内で唯一、海を見下ろせる田んぼ」をPRポイントとして、平成22年市観光協会と連携し、田植え、稲刈り体験を一般公募。参加者に農業の現状を伝え、共に作業をすることで、地域も元気をもらっている。

地域を支える山を守り、その資源を活用できる取り組みへ。50年、100年後を見据えた活動を模索している。



暮坪自治会長 奥井 厚さん